



◆令和5年度長野市単独事業(果樹振興事業)補助金振込について

長野市果樹振興事業(りんごわい化苗木導入事業・振興果樹苗木導入事業)補助金について、4月26日(金)予定、で対象者のJA口座に振込致します。

◆生育状況について

桜の開花は、長野气象台発表で4月8日と、平年比3日、昨年比より11日遅い開花となった管内の生育は、もも川中島白桃発芽3月31日、りんごふじ発芽4月1日と、昨年より10日程度遅れているが、平年より早い状況となっている。

非常に早い生育であった、昨年と比べると遅いが、作業が遅れないように計画的に取り組む。

◆JAグリーン長野凍霜害対策本部設置と対策について

3月18日から5月24日(予定)の期間、本所営農販売部に設置致します。凍霜害対策本部では、凍霜害対策の注意喚起、災害発生時の調査対策を実施致します。

なお、本年度より、注意喚起周知が変更になり、災害発生危険時ではなく、継続的な注意喚起を実施していきます。タイムリーな情報収集は、気象予報、気象アプリ、紹介しているアグリネットを有効活用下さい。

1. 凍霜害は、生育が進みこれからが一番危険な時期を迎えるため、遅霜が心配される3~5月は燃焼資材、防霜ファン準備し、防霜対策を進める。
2. なお、燃焼資材の利用は、火事と誤認されないよう、JA 凍霜害対策本部として、消防署への届け出を一括で実施してありますので、燃焼時の消防署への連絡は不要です。
3. 長野県の凍霜害対策動画^{ずく}出して凍霜害対策もご活用下さい。※前回静参照

◆薬剤散布は注意して実施する

近年、薬剤散布による苦情が増加しています。薬剤散布には充分注意する。

特に4月21日は、長野マラソンが予定されていますので、特に注意する。

1. 時間帯や風向きに注意し、隣接する家・駐車場の車・洗濯物、河川、畜舎に飛散させないよう注意にする。
2. 通学路の付近で通学中の時間帯や交通量の多い道路に面した園地は、特に注意する。
3. 防除をする場合は無風の日を選び、野菜・アスパラガス等の他作物・他品目に薬液が掛からないように十分注意する。特に収穫期の作物が近くにある場合は、散布前に隣接園の園主へ声をかけてから行う。
4. 残った薬液や器具洗浄の際は、河川・用排水路等に流れ込まないように注意する。
5. 散布者もマスク・カップ等装備をし、健康に注意する。

◆農薬による河川水の汚染防止について

石灰硫黄合剤などの農薬による防除が始まる季節となった。農薬の調合液を作る時はラベルに書いてある希釈倍率と使用量を守るとともに、調整液が残らないように必要量だけ調整する。やむを得ず残ってしまった調整液や散布器具を洗浄した液は、散布ムラの調整等に利用し河川には絶対に流さない。

◆農作業事故に注意する

農業機械の利用が多くなる。「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故を起さないよう注意する。

- ①農業機械・施設の日常点検整備の励行と点検整備中の事故に注意する。
- ②刈払機使用時には、保護メガネ等防護具を着用し、怪我の防止をする。
- ③高所作業中における転落防止。無理な体勢で作業を行わない。
- ④農業機械の安全な運転と周囲の安全確認の徹底をする。
- ⑤ゆとりのある計画的な作業を心がけ、休憩を取るなどして、無理な作業を行わない。

この他、注意するべき点はいくつもあります。常に「安全」の意識を高め、怪我等無いよう作業を実施する。

◆開花期のかん水について(花器・若芽・新根は蛋白質と水分で育つ)

開花、結実、幼果肥大のエネルギー源は、貯蔵栄養(散布液肥)と土壤水分です。成葉のない春先は、細根のそばに水が十分ないと吸われない。また、乾燥は柱頭への花粉の付着を悪くする。

この時期以降しばらくは、平年並みの降水量でも、不足する時期となるため、積極的に実施したい。時間帯は日中が良いが、日中に人工受粉等の作業がある場合は、夕方かん水して朝には乾く位にかん水する。

◆訪花昆虫の保護について [みつばちへの危被害を防ぎましょう]

訪花昆虫を導入する地域は、期間中の殺虫剤・除草剤の散布は実施しないよう厳守する。

但し、除草剤はラウンドアップ系に限って使用可能。

影響が無い農薬を使用する場合でも、ミツバチの飛ばない早朝に散布を行うなど十分に注意する。

農薬の使用にあたって

■ みつばちは農薬に極めて敏感です ■



★ 巣箱や周辺への農薬の飛散に注意しましょう。

- ☞ みつばちの活動している時(気温が概ね 13~30℃となる時間)の散布は特に注意しましょう
- ☞ 風向きに注意し、早朝など風の無い時間帯に散布しましょう
- ☞ ノズルの向きに注意して散布しましょう

★ 農薬の使用上の注意をよく読みましょう。

- ☞ ラベルの確認をして、右のマークがあれば使用しない。



★ 農薬の適正使用を心がけましょう

- ☞ J Aの防除暦に記載されている殺虫剤であれば安心して使用できます。

◆令和6年度 性フェロモン剤設置について

下記内容により、適切な設置をする。設置本数・時期を守りましょう。

1. 品目別の性フェロモン剤の種類について

品目	種類	本数(10a当)	防除対象
りんご	コンフューザーR	120~100本	シンクイムシ・ハマキムシ
りんご プルーン・すもも	ナシヒメコン	第1期 100本 第2期 50本	ナシヒメシンクイ・ スモモヒメシンクイ
もも・ネクタリン	コンフューザーMM	120本	モモハモグリガ・シンクイムシ・ハマキムシ
梨	コンフューザーN	200本	シンクイムシ・ハマキムシ
—	スカシバコン	100本	コスカシバ

2. 設置日について

品目	種類	設置時期
りんご	コンフューザーR	4月18日(木)~ 4月24日(水)
りんご プルーン・すもも	ナシヒメコン	第1期 4月18日(木)~ 4月24日(水) 第2期 7月 上旬~中旬
もも・ネクタリン	コンフューザーMM	4月24日(水)~ 4月30日(火)
梨	コンフューザーN	5月13日(月)~ 5月20日(月)
—	スカシバコン	4月18日(木)~ 4月24日(水)

3. 設置方法について

1) 設置場所: 目通りの高さを中心に、地上から手の届く範囲の高さに設置する。

ただし、樹高が高い樹の場合は、三脚に乗って、なるべく高い所にも取り付ける！

2) 設置本数の計算

① 該当園地の面積からコンフューザーの使用本数を計算する。10a当たりの基準は上記の表を参照

② 園内に平均的に設置する(使用本数の8割)

・使用本数に0.8をかけた値を園内の樹の本数で割ると樹1本当たりの設置本数が出ます。

例) りんご20aで450本植えの園では、 $200本 \times 0.8 \div 450 = 0.36$ 。約3本に1本ずつ設置していく

③ 残りの2割を園地の外周部の樹に取り付ける

・使用本数に0.2をかけた値を周囲の樹の本数で割ると樹1本当たりの設置本数が出ます。

例) りんご20aの園で周囲の本数は約190本では、 $200本 \times 0.2 \div 190 = 0.21$ 。

約5本に1本ずつ設置していく

4. 留意事項

1) 大きな樹は、なるべくバラバラになるように各方向の枝に取り付ける。

小さい樹は、1ヶ所に2本取り付けても良い。

2) 傾斜のある園では周辺の高い部分に多めに取り付ける。

3) 隣接園もコンフューザーを利用している場合は、隣接部の本数を減らして、その他の隣接していない外周の本数を増やす。

4) 風上・面積が少ない・園が空いていて風通しが良い園は ⇒ 多めの設置にする

5) フェロモン剤は強い直射日光が当たると残効が短くなる。

葉の多い日陰部分への設置が基本(残効3~4ヶ月程度)

6) 取り付け方 コンフューザーR・MM・Nは広げて枝に通す方式。

ナシヒメコン・スカシバコンはひねって取り付ける方式。

7) 必ず当年中に使用する事。次年度へは持ち越さないようにする。

8) 設置までの保管方法: 袋を密閉したまま、低温下(冷蔵庫・冷凍庫)で保管する。

9) ナシヒメコンは、第1期並びに第2期分がまとめたの配布になるので、第2期分は適正に保管する。

10) コンフューザーNは、早めの配布になり、設置日まで期間が空くので、設置時期まで適正に保管する。

5. 追加注文・返品について

1) 追加注文: メーカー在庫がある限り、当用販売が可能です。

設置してみたら、不足した。注文を忘れていた、といった場合、対応致します。

① 注文先: JAファーム、営農資材センター、経済課 ※流通センターではありません。

② 引き渡し: 注文先にて

③ 留意事項: 注文から引き渡しまで、お時間をいただきますが、ご了承下さい。

2) 返品: 適切に管理されており、封を切っていない場合は、令和6年配布の剤の場合、返品受付致します。

① 返品先: JAファーム、営農資材センター、経済課 ※流通センターではありません。

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武(篠ノ井西部): 080-1202-0260 / 外谷(篠ノ井東部): 080-8048-6602

※篠ノ井西部は、新採用職員のため、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤(信更): 090-7179-9866 / 伊藤(松代): 080-2239-6816

松橋(川中島): 090-4816-6297 / 根津(更北) 080-1203-8576

松澤(若穂) 080-1191-5166 / 寺澤(全域・情報担当・編集): 080-1188-5229

吉澤(全域・情報監修): 090-2543-0365

栽培に関しての電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー(流通センター長兼務) 松坂(篠ノ井西部) 080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所 / 営農販売部(本所): 292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課: 299-3311

[コンフューザーR・MM・N・ナシヒメコン・スカシバコンの具体的取付け方法]図

